



生涯教育制度ハンドブック



公益社団法人 日本視能訓練士協会

Japanese Association of Certified Orthoptists

<http://www.jaco.or.jp/>

目 次

・生涯教育制度	
1．教育システムの概要	・・・ p . 3
・生涯教育制度登録	・・・ p . 4
1．履修開始時の登録方法	
2．登録料と振込先	
3．書類郵送先	
4．各プログラム履修申請	
5．各プログラム受講申込	
・生涯教育制度の流れと各プログラムの概要	・・・ p . 5
新人教育プログラム	・・・ p . 5 , 6
基礎教育プログラム	・・・ p . 6 , 8
専門教育プログラム	・・・ p . 7
認定視能訓練士	・・・ p . 8 , 9
認定専任教員	・・・ p . 10 , 11
・申請書式・単位取得申告書および履修管理表一覧	・・・ p . 12 , 13
・生涯教育単位表	・・・ p . 14
単位に関する留意事項	・・・ p . 15 , 16
・単位管理の方法	・・・ p . 17

* 本冊子は、生涯教育制度履修に関わる各種手続きが円滑に行えるように、生涯教育制度ハンドブック、生涯教育手続集の一部をまとめたものです。

* 教育プログラムのカリキュラム、シラバス等の詳細につきましては、日本視能訓練士協会ホームページの生涯教育制度ハンドブックをお読みください。

* 手続に必要な各種用紙は、協会ホームページからダウンロードできます。

* 生涯教育制度は見直しにより、改定・改訂される場合がありますので、協会ホームページのハンドブック内容を適宜ご確認ください。

<https://secure.jaco.or.jp/kyouiku>

生涯教育制度

1. 教育システムの概要

1) 教育のシステム

視能訓練士の将来と教育レベルを考慮して、協会が行う生涯教育制度は3段階の教育過程すなわち「新人教育プログラム」、「基礎教育プログラム」、「専門教育プログラム」で構成する。

2) 各プログラムの概要

「新人教育プログラム」

国家試験に合格し、有資格者として臨床実践を行いながら、卒前に習得した知識・技術を臨床の場で生かし、応用習熟する力を養う学習と、視能管理の専門職業人としての職業倫理および基礎的な知識・技術を学習する。

「基礎教育プログラム」

視能訓練士として基礎的な知識・技術を一定水準に維持すること。それに加え、自己研鑽を促して、基礎専門分野、専門分野についてより高い知識・技術の学習を行う。さらに保健・医療・福祉（介護を含む）といった領域を包括し、医療人として対応できるような幅広い学習を行う。

「専門教育プログラム」

専門分野での高度な知識と技術に加え、選択した専門領域の研究に必要な知識を習得し、各専門領域における教育・臨床・研究を通して、将来のリーダーを育成する。

各プログラムの履修期間

新人教育プログラム：履修申請日より5年以内

基礎教育プログラム：履修申請日より10年以内

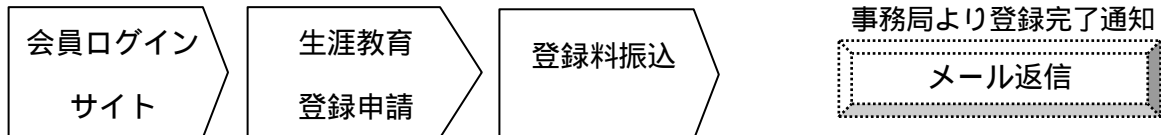
専門教育プログラム：期限は設けない

生涯教育制度登録

生涯教育制度を利用するには・・・
生涯教育制度への登録 各プログラムへの履修申請がそれぞれ必要です。
その後、各プログラムのカリキュラムの受講は、受付期間内に受講申込を行います。

1. 生涯教育制度の登録方法

登録方法 1) 協会ホームページより <https://secure.jaco.or.jp>



登録方法 2) 郵便局より



2. 登録料と振込先

登録料：2,000 円 登録から 10 日以内に振込む

登録料振込先：三菱 UFJ 銀行 阿佐ヶ谷支店

普通預金 口座番号 1464018

口座名 ショウガイキョウイクグチ 生涯教育 公益社団法人日本視能訓練士協会

3. 書類郵送先 (申請書・振込受領書コピー)

郵送先 〒101-0044

東京都千代田区鍛冶町 1-8-5 新神田ビル 2 階

公益社団法人 日本視能訓練士協会 生涯教育部宛

4. 各プログラム履修申請

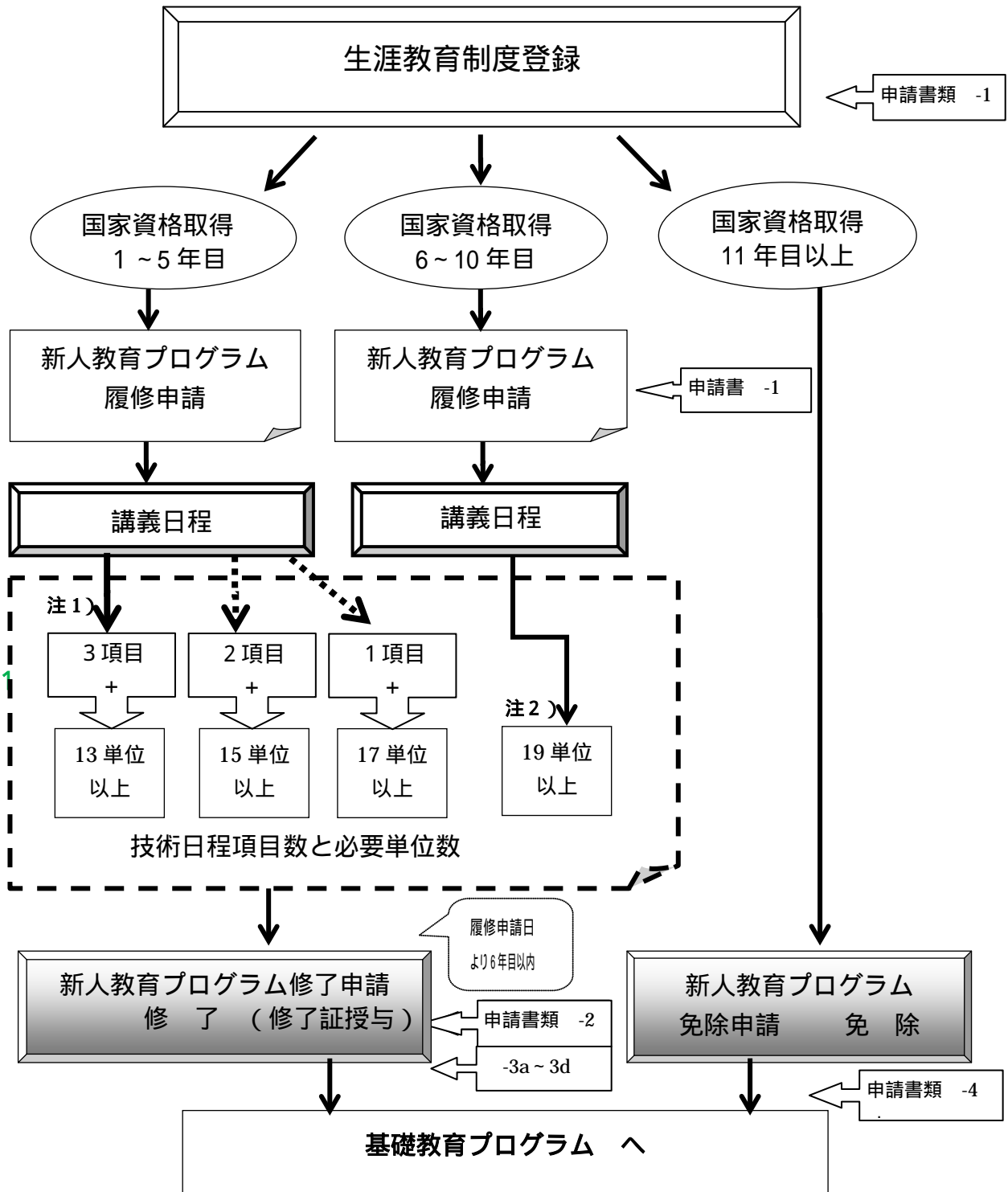
協会ホームページの会員ログインサイトから履修申請、または申請書を郵送し登録完了通知を受ける。

5. 各プログラム受講申込 申込期間内で先着順

☛ 詳細は協会ホームページ参照

・生涯教育制度の流れと各プログラム概要

<新人教育プログラム> <https://secure.jaco.or.jp/kyouiku>



新人技術日程は、条件を満たせば6年目以上も受講可能。ただし3年以内優先

注1) 免許取得後3年以内に修了する場合、技術を単位に置きかえず3項目を受講すること

注2) 日本視能矯正学会または総会に伴う講演会・研修会に2回以上出席すること

< 新人教育・基礎教育プログラム >

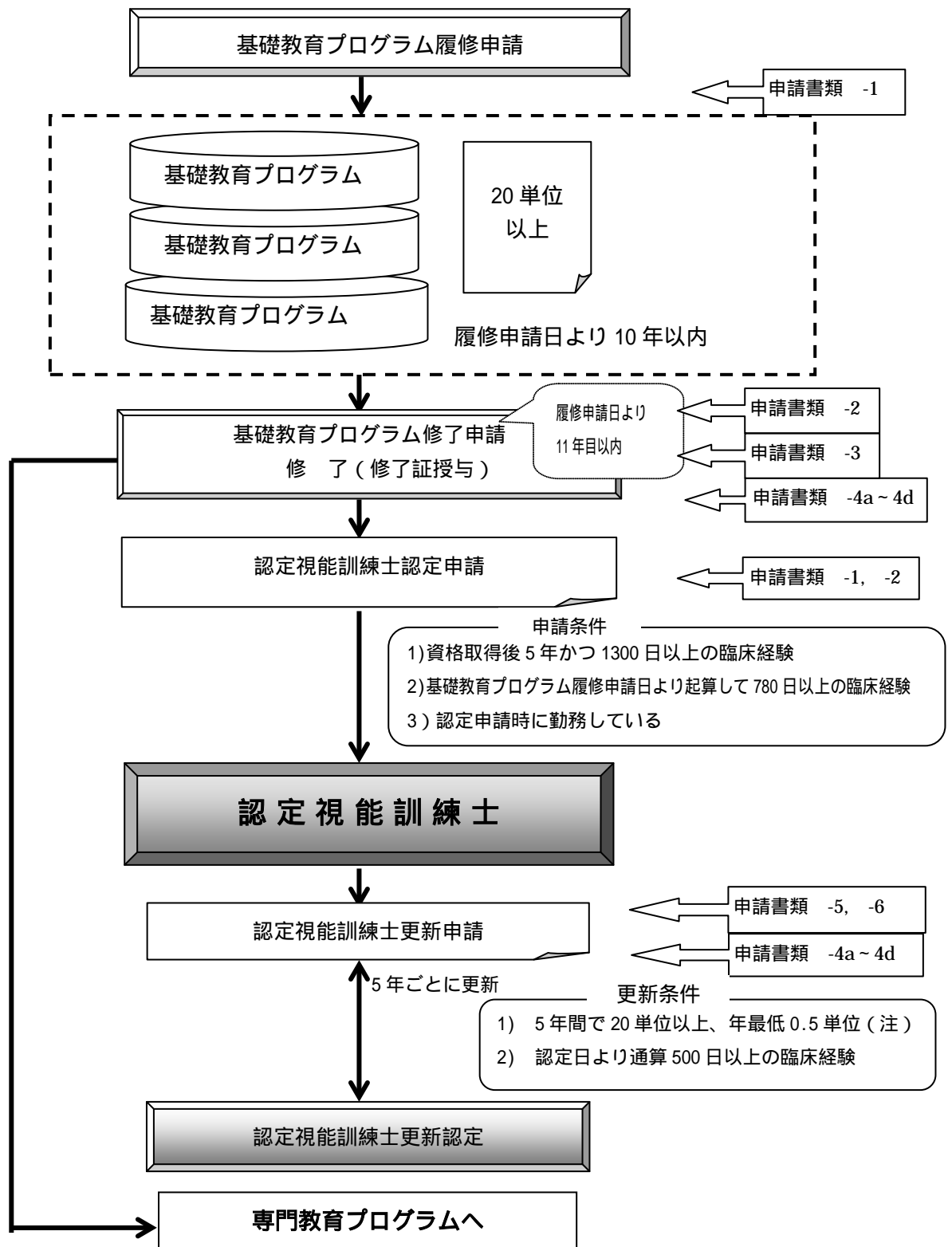
	新人教育プログラム	基礎教育プログラム
対象	視能訓練士免許取得後 10 年目以内	新人教育プログラム修了者、免除者
履修申請	郵送または協会ホームページ（プログラム受講申込期間前に履修登録完了要）	
履修期間	新人教育プログラム履修申請日より 5 年以内	基礎教育プログラム履修申請日より 10 年以内
受講申込	申込期間内に協会ホームページより申込 https://secure.jaco.or.jp	
内容	講義日程（2 日間） 技術日程（3 項目・各 1 日）	基礎教育：専門基礎、専門分野（3 日間） 基礎教育：専門分野（3 日間） 基礎教育：ケーススタディー（2 項目・各 1 日）
受講料 1	講義日程 15,000 円 技術日程 各 6,200 円	基礎教育 22,000 円 基礎教育 22,000 円 基礎教育 各 9,000 円
受講方法 と 修了条件	<p>< 免許取得 5 年目まで ></p> <p>講義日程受講後、各技術日程を受講 学会参加および発表などにより必要 単位を取得</p> <p>技術日程受講項目数により、必要単 位は下記のように決まる 2</p> <p>技術 3 項目 + 13 単位以上 技術 2 項目 + 15 単位以上 技術 1 項目 + 17 単位以上</p> <hr/> <p>< 免許取得 6 ~ 10 年目 > 3</p> <p>講義日程受講後、学会参加および発 表などにより 19 単位以上を取得</p> <hr/> <p>< 免許取得 11 年目以上 ></p> <p>免除申請の上、基礎教育へ</p>	<p>< 免許取得 14 年目まで ></p> <p>各プログラム 1 回ずつ、 から順に受講開始 学会参加および発表などにより 20 単位を取得</p> <p>< 免許取得 15 年目以上 ></p> <p>基礎 を指定学会参加に振り替えることが可能</p> <p>視能矯正：日本視能矯正学会および弱視斜視学会 視能障害：日本ロービジョン学会総会および日本 ロービジョン学会研修会 1、2</p>
修了申請	期間：4 月 1 日～5 月 31 日必着 10 月 1 日～11 月 30 日必着 * 履修申請日より 6 年目以内 必要書類： 新人教育プログラム修了申請書 単位取得申告書	期間：4 月 1 日～5 月 31 日必着 10 月 1 日～11 月 30 日必着 * 履修申請日より 11 年目以内 必要書類： 基礎教育プログラム修了申請書 単位取得申告書
送付先	協会事務局	
修了証	理事会承認後修了証発行	

1. 受講料は改定されることがあります
2. 免許取得後 3 年以内で修了する場合、単位に振り替えず技術 3 項目を必須で受講すること
(2021 年以降、免許取得後 5 年以内に修了する場合、単位に振り替えず技術 3 項目を必須
で受講することと変更になる)
3. 講義日程のみ履修の場合、日本視能矯正学会または総会に伴う講演会・研修会に 2 回以上出席し単位取得に含めること(合計 19 単位)

< 専門教育プログラム >

	専門教育プログラム
対象	基礎教育プログラム修了者
履修申請	郵送または協会ホームページより申請
履修期間	特に設けない
受講申込	協会ホームページより申し込み
内容	専門教育プログラム 専門教育プログラム A (視能検査学) B (眼鏡・光学、視能訓練学、視能障害学) 専門教育プログラム
受講料	専門教育プログラム (2日間) 15,000 円 専門教育プログラム (2日間) 15,000 円 (3日間) 各 22,000 円 専門教育プログラム (2日間) 15,000 円
受講方法 と 修了条件	専門教育プログラムは、専門教育プログラム、専門教育プログラム (A:視能検査学、B:眼鏡・光学、視能訓練学、視能障害学)、専門教育プログラム で構成される。 プログラムは (A) (B) の順序で受講する
修了申請	
送付先	協会事務局
修了証	

<基礎教育プログラム・認定視能訓練士>



資格取得 14 年目まで：プログラムを から順に受講
 資格取得 15 年目以上：基礎 を指定学会参加に振替可（詳細は P6 を参照のこと）
 注）日本視能矯正学会または総会に伴う講演会・研修会に 2 回以上参加の事

< 認定視能訓練士 >

	認定視能訓練士
対象	基礎教育プログラム修了者
申請条件	免許取得後5年以上かつ1300日以上の臨床経験 基礎教育プログラム履修申請日から起算し780日以上の臨床経験 認定申請時に勤務している
認定申請	期間：1月15日～2月末日必着 必要書類： 認定視能訓練士認定申請書 勤務証明書 会員証用顔写真（台紙添付）
送付先	協会事務局
認定証	理事会承認後、認定視能訓練士認定証・会員証・認定バッジ 発行

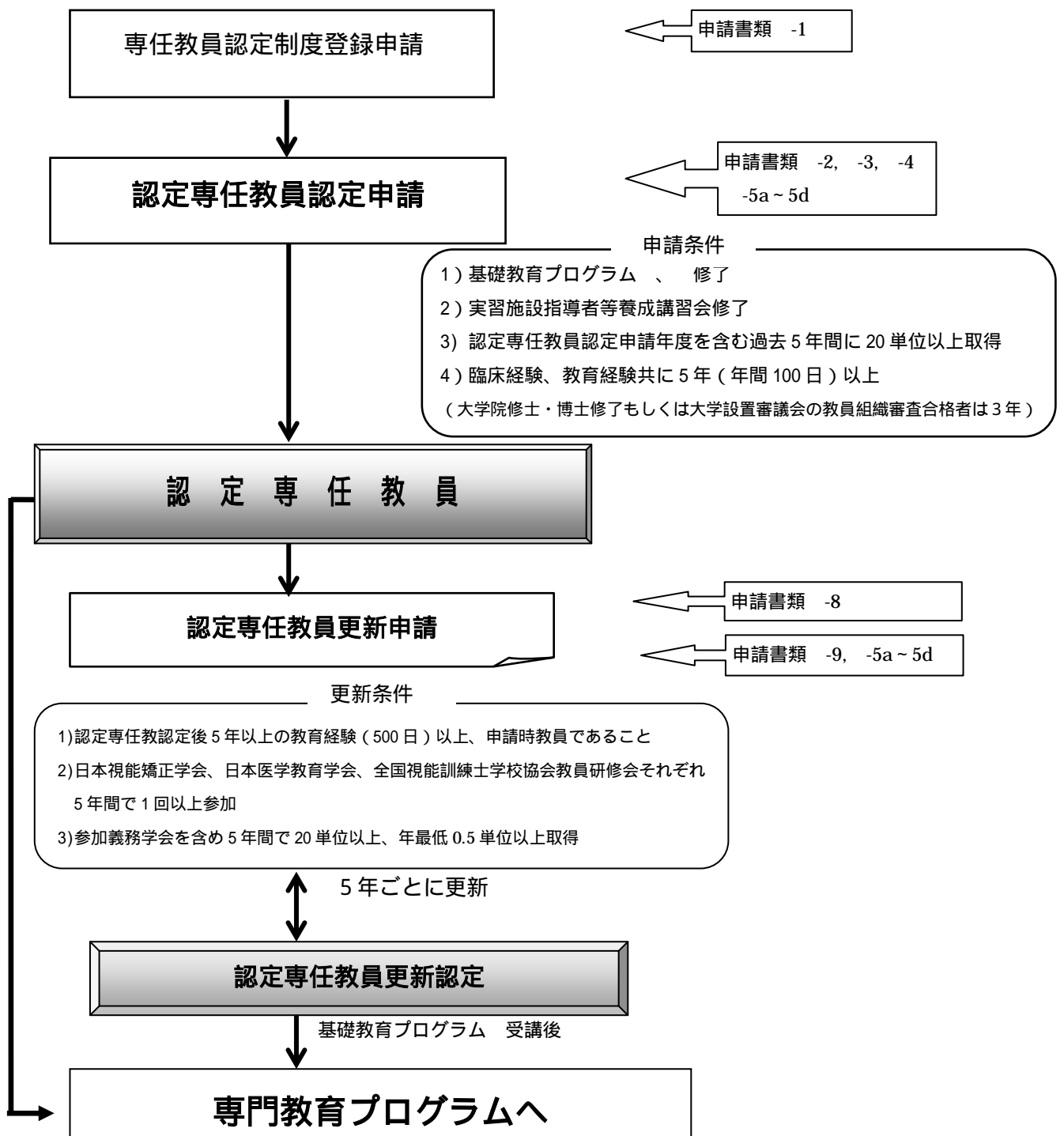
	認定視能訓練士更新
更新期間	5年
更新条件	認定視能訓練士認定後、規定の単位取得 （うち日本視能矯正学会または総会に伴う講演会・研修会に2回以上参加） 5年間に通算500日以上の臨床経験（3月31日時点での勤務見込みでも可） 毎年最低0.5単位取得 認定更新時に勤務していること
更新料	7,000円 更新申請時に支払う
更新申請	期間：1月15日～2月末日必着 必要書類： 認定視能訓練士更新登録申請書 更新料振込受領書コピー 単位取得申告書 勤務証明書 会員証用顔写真（台紙添付）
送付先	協会事務局
証明証	理事会承認後、認定視能訓練士更新証明書・会員証 発行
認定喪失	5年の更新期間ごとに更新されない場合、認定視能訓練士の認定失効。 あらたに認定視能訓練士を取得する場合、基礎教育プログラム再履修。

更新料は改定されることがあります

協会ホームページの会員ログインサイトより申請書類をダウンロードできます

● <https://secure.jaco.or.jp/>

< 認定専任教員 >



認定視能訓練士と認定専任教員とを重複して取得することは可能とする。
 認定専任教員は基礎教育プログラムを受講すれば専門教育プログラムに進める。
 (ただし基礎の学会参加への振替は不可)

< 認定専任教員 >

	認定専任教員
対象	視能訓練士の学生の教育に携わる者 専任教員認定制度登録申請者 基礎教育プログラム 修了者 *
申請条件	基礎プログラム、修了 実習施設指導者等養成講習会修了 認定専任教員認定申請年度を含む過去5年間に20単位以上取得 臨床経験、教育経験共に5年(年間100日)以上 (大学院修士・博士修了もしくは大学設置審議会の教員組織審査合格者は3年)
認定申請	期間: 1月15日~2月末日必着 必要書類: 認定専任教員認定申請書 基礎教育プログラム 修了証コピー 実習施設指導者等養成講習会修了証コピー 視能訓練士養成所勤務証明書(教育経験) 臨床勤務証明書(臨床経験) 単位取得申告書 会員証用顔写真(台紙添付)
送付先	協会事務局
認定証	理事会承認後、認定専任教員認定証・会員証・認定バッジ 発行

	認定専任教員更新
更新期間	5年
更新条件	認定専任教員認定後5年間(500日)以上視能訓練士養成学校で教育経験 日本視能矯正学会、日本医学教育学会、全国視能訓練士学校協会教員研修会 に それぞれに5年間に1回以上参加 参加義務学会を含め5年間で20単位以上、毎年最低0.5単位取得
更新料	7,000円 更新申請時に支払う
更新申請	期間: 1月15日~2月末日必着 必要書類: 認定専任教員認定更新申請書 更新料振込受領書コピー 単位取得申告書 視能訓練士養成所勤務証明書(更新用) 会員証用顔写真(台紙添付)
送付先	協会事務局
証明証	理事会承認後、認定視能訓練士更新証明書・会員証 発行
認定喪失	5年の更新期間ごとに更新されない場合、認定専任教員の認定失効。 あらたに認定専任教員を取得する場合、基礎教育プログラム再履修。

認定視能訓練士と専任教員とを重複して取得することは可能とする

* 専門教育プログラムに進む場合、基礎教育プログラム の受講が必須になる

・申請書式・単位取得申請書・単位表・履修管理表

協会ホームページよりダウンロードして郵送すること。☛<https://secure.jaco.or.jp/kyouiku>
(-1)(-1)(-4)(-1)(-1)に関しては協会ホームページの会員ログインサイト
から登録可能。全て西暦で記入のこと。

[] 生涯教育制度登録申請関連

- 1. 生涯教育制度登録申請書
- 2. 視能訓練士生涯教育単位表
- 3. 単位に関する留意事項

[] 新人教育プログラム関連

- 1. 新人教育プログラム履修申請書
- 2. 新人教育プログラム修了申請書
- 3a. 学会等出席に伴う単位取得申告書
- 3b. 学会等発表に伴う単位取得申告書
- 3c. 論文等発表に伴う単位取得申告書
- 3d. 著作等発表に伴う単位取得申告書
- 4. 新人教育プログラム免除申請書
- 5. 新人教育プログラム履修管理表

[] 基礎教育プログラム関連

- 1. 基礎教育プログラム履修申請書
- 2. 基礎教育プログラム修了申請書
- 3. 基礎教育プログラム修了申請書(基礎 免除者用)
- 4a. 学会等出席に伴う単位取得申告書
- 4b. 学会等発表に伴う単位取得申告書
- 4c. 論文等発表に伴う単位取得申告書
- 4d. 著作等発表に伴う単位取得申告書
- 5. 基礎教育プログラム履修管理表

[] 専門教育プログラム関連

- 1. 専門教育プログラム履修申請書

[] 認定視能訓練士関連

- 1. 認定視能訓練士認定申請書
- 2. 勤務証明書(申請用)
- 3. 会員証用顔写真台紙
- 4a. 学会等出席に伴う単位取得申告書
- 4b. 学会等発表に伴う単位取得申告書
- 4c. 論文等発表に伴う単位取得申告書
- 4d. 著作等発表に伴う単位取得申告書
- 5. 認定視能訓練士更新登録申請書

- 6. 勤務証明書（更新用）
- 7. 認定視能訓練士更新単位管理表

[] 認定専任教員関連

- 1. 専任教員認定制度登録申請書
- 2. 認定専任教員認定申請書
- 3. 視能訓練士養成所勤務証明書（認定専任教員用：教育経験）
- 4. 臨床勤務証明書（認定専任教員用：臨床経験）
- 5a. 学会等出席に伴う単位取得申告書
- 5b. 学会等発表に伴う単位取得申告書
- 5c. 論文等発表に伴う単位取得申告書
- 5d. 著作等発表に伴う単位取得申告書
- 6. 会員証用顔写真台紙
- 7. 認定専任教員認定単位管理表
- 8. 認定専任教員認定更新登録申請書
- 9. 視能訓練士養成所勤務証明書（認定専任教員更新用）
- 10. 認定専任教員更新単位管理表

[] 生涯教育制度の休止および復帰関連

- 1. 休止届
- 2. 復帰届
- 3. 休止届（認定専任教員用）
- 4. 復帰届（認定専任教員用）

[XI] 生涯教育認定事業関連

- XI-1. 生涯教育事業認定申請書
- XI-2. 生涯教育事業名称変更届
- XI-3. 生涯教育事業認定取り下げ願い

[XII] その他

- XII-1. 会員証再発行申請書
- XII-2. 会員証（認定）再発行申請書
- XII-3. 認定視能訓練士・認定専任教員バッジ購入申請書
- XII-4. 認定視能訓練士・認定専任教員認定証再発行申請書

すべて西暦で記載のこと

申請書等の郵送先： 〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 1-8-5 新神田ビル 2 階
公益社団法人 日本視能訓練士協会 生涯教育部宛

・視能訓練士生涯教育単位表

注) 単位数は「単位に関する留意事項」を必ず参照すること

2019年9月現在

【発表等】

開催規模	主催・認定事業	学会等の名称	筆頭	共同	講師/シンポジスト		
国内	全国	(公益社団法人)日本視能訓練士協会	日本視能矯正学会(口頭)	3	1	5	4
		日本視能矯正学会(展示)	2	1			
		日本視能矯正学会 生涯教育セミナー			4		
		総会に伴う講演会と研修会	3	1	4	3	
		(公益財団法人)医療研修推進財団	実習施設指導者等養成講習会			5	
			1(口頭)	3	1	5	4
			1(展示)	2	1		
			2(口頭・展示)	2	1	5	4
		4			5	4	
		協会が共催または後援する学会の視能訓練士プログラム	2	1	5	4	
		協会が共催または後援する事業	6 協会が共催または後援する会	2	1	5	4
		地方	認定事業	地域視能訓練士会	1		3
国際	IOA加盟国	3(口頭)	4	1	6	5	
		3(展示)	3	1			
		IOA加盟国主催学会	2	1	4	3	

【誌上发表】

	発行機関	掲載誌等の名称	筆頭	第2	第3
邦文	(公益社団法人)日本視能訓練士協会	日本視能訓練士協会誌	5	3	1
		1、2 関連雑誌	5	3	1
欧文	3	3 関連雑誌	6	3	1
	5	5 その他の雑誌	6	3	1

【学会参加】

開催規模	主催・認定事業	学会等の名称		
国内	全国	(公益社団法人)日本視能訓練士協会	日本視能矯正学会	6(2011年度までは4)
		日本視能矯正学会 生涯教育セミナー	1	
		日本視能矯正学会 認定視能訓練士セミナー	1	
		総会に伴う講演会と研修会	5(2011年度までは3)	
		(公益財団法人)医療研修推進財団	実習施設指導者等養成講習会	6(2011年度までは8)
			1	4
			2	2
			4	1
		協会が共催または後援する学会の視能訓練士プログラム	1	
		協会が共催または後援する事業	6 協会が共催または後援する会	1日1単位・2日以上3単位 2日以上で分割可能な場合 1日1単位
	日眼生涯教育事業	7 単位付与を申請した会		
	地方	認定事業	地域視能訓練士会	1
国際	IOA加盟国		3	5
		IOA加盟国主催学会		3

【その他の単位取得】

国内	全国	(公益社団法人)日本視能訓練士協会	指定論文への解答	0.5
			施設見学	1
			指導者育成研修会	1項目につき 1

単位取得可能な学会は追記、削除されることがありますので、必ず協会ホームページで確認した上で申請してください。

単位に関する留意事項

1. 発表者には出席の単位も加算される。
2. 2つ以上の学会が合同で行なわれる場合でも同時進行の場合は片方の単位とし、日数の増加があるときは考慮する。なお、すでに単位申請が認められている学会との共同開催であったとしても単位申請が認められていない学会名での単位申請はできない。
3. 地域主催の勉強会等については所定の手続きにより生涯教育事業の認定を受けること。
(生涯教育事業認定申請書XI 1)
4. 地域主催の勉強会等の参加については3時間以上を1単位、1.5時間～3時間未満では0.5単位とする。1年間に複数回参加しても取得単位は合わせて1単位までとする。発表の単位に制限はない。
5. 協会が主催する施設見学は1単位として年1回まで認める。施設見学研修実施証明証発行。
6. 国際学会では参加証明書もしくは領収書のコピーを単位証明とする。
7. 認定視能訓練士および認定専任教員の更新条件として1年間に最低0.5単位以上の取得を義務とする。
8. 毎年発行される日本視能訓練士協会誌の指定論文を読み、協会誌に添付されている問題の解答を生涯教育部に送ることで0.5単位を認める。(解答の送信方法は協会誌に記載された方法で実施すること)。
9. 1～7については下記事業一覧を参照のこと。(2013年4月以降、下記学会に限る)

1 一覧表		
日本眼科学会総会	日本臨床眼科学会	日本弱視斜視学会総会
日本小児眼科学会総会	日本神経眼科学会総会	日本医学会総会
日本ロービジョン学会総会		

2 一覧表 (2日以上開催の学会)		
日本眼科手術学会総会	日本白内障学会総会	日本糖尿病眼学会
日本白内障屈折矯正手術学会 (JSCRS 学術総会)		日本眼光学学会総会
日本緑内障学会	日本眼薬理学会	日本コンタクトレンズ学会総会
日本視野画像学会学術集会 (2013年度開催以降)		日本涙道・涙液学会
日本眼感染症学会	日本眼炎症学会	日本眼循環学会
角膜カンファランス・日本角膜移植学会		日本眼腫瘍学会
日本臨床視覚電気生理学会	日本網膜硝子体学会総会	日本リハビリテーション医学会
日本近視学会総会 (2018年度開催以降)		日本小児神経学会
日本リハビリテーション連携科学学会		日本発達障害学会
日本小児精神神経学会	日本小児保健協会学術集会	日本臨床神経生理学会
日本医学教育学会	日本保健医療福祉連携教育学会	日本LD学会
日本特殊教育学会	全国視能訓練士学校協会教員研修	
日本心理学会	日本認知心理学会	日本発達心理学会
日本神経心理学会	日本教育心理学会	日本応用心理学会
認知神経科学会	応用物理学会	日本光学会

3 一覧表 (国際学会)		
国際視能矯正学会 (IOA congress)	国際斜視学会 (ISA)	ヨーロッパ斜視学会 (ESA)
国際ロービジョン学会 (ISLRR)	国際眼科学会 (WOC)	米国眼科学会議 (AAO)
視覚と眼科学協会会議 (ARVO)	国際視野画像学会 (IPS)	国際近視学会 (IMC)
北米神経科学会 (Society for Neuroscience)		
Organization for Human Brain Mapping (OHBM)		

3 国際視野画像学会 (IPS) 2018 年開催、国際近視学会 (IMC) 2019 年開催のワンデーパスは 1 単位

4 日本弱視斜視学会・日本小児眼科学会合同講習会は 1 単位、日本ロービジョン学会研修会 1、2 はそれぞれ 0.5 単位ずつ (ともに 2013 年度開催以降)

5 査読付き

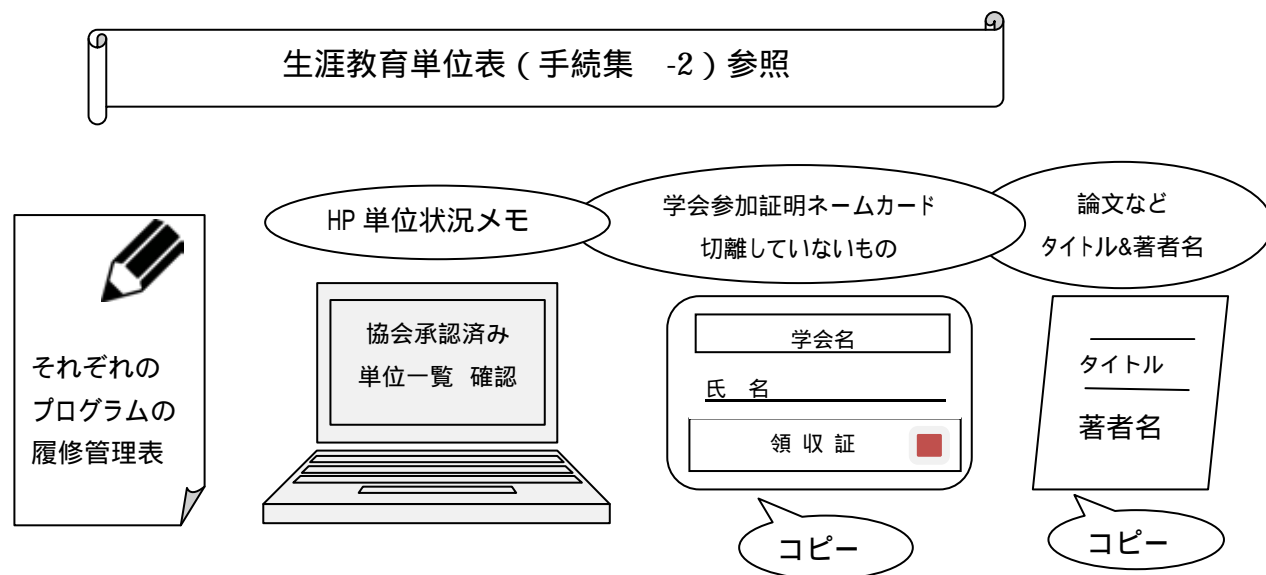
6 一覧表		
眼光学チュートリアルセミナー	視覚生理学基礎セミナー	ロービジョンケア講習会
視能訓練士のためのロービジョン講習会	日本医療マネジメント学会 (2016 年度以降)	
視覚障害リハビリテーション研究発表大会 (第 21 回、第 22 回、第 23 回、第 24 回、第 25 回、第 27 回、第 28 回)		
九州眼科学会 (第 89 回)	関東甲信越眼科学会 (第 55 回)	

7 一覧表

注意事項

- 2013 年 4 月現在、協会が協賛・共催する学会とは 2012 年度以降の日本臨床眼科学会と 2012 年度以降の日本眼科学会総会の 2 学会です。両学会については学会参加単位の他に視能訓練士プログラムの参加で 1 単位が認められます。
なお 2012 年 11 月までに開催された 1、2 の学会における視能訓練士プログラムでのみの参加の場合は、サンデーパスなどの領収書のコピーの提出をもって 1 単位が認められます。
- 「視能訓練士のためのロービジョンケア講習会」と「ロービジョンケア講習会」と「実習施設指導者等養成講習会」は、修了証のコピーをつけてください。施設見学研修をされた方は施設見学研修実施証明証のコピーをつけてください。
- 第 6 回日本ロービジョン学会研修会 1、2 (2017 年開催) は、学会会期中に開催されるため単位が認められません。
- 第 74 回日本弱視斜視学会総会 (2018 年開催：荒天により 2 日中止) は、第 74 回日本弱視斜視学会総会の出席者は 4 単位 (通常通り)、発表 (口頭・展示) も通常通り単位取得できます。また基礎教育プログラム (視能矯正) の免除学会としても通常通り認められます。なお第 34 回日本弱視斜視学会講習会に関しては、参加および演者とも単位が認められません。

・単位管理の方法



生涯教育単位表(手続集 -2)に従いそれぞれの教育プログラム履修管理表を使用し、記入する。
(生涯教育セミナー、日本臨床眼科学会視能訓練士プログラム、生涯教育プログラムなど、参加当日バーコード付き会員証により参加単位登録が協会側で承認されているものと、未承認のもので、単位管理方法が違うので、留意する。)

協会承認済み単位：

協会ホームページの単位状況メモ画面の 協会承認済み単位一覧 に反映されていることも確認する。

協会未承認単位：

- ・学会や勉強会参加については、学会名、参加者氏名、領収書が記載されている参加証明書、あるいは領収書のコピーを保管する。
- ・学会発表と論文および著作などは、氏名、タイトルが明記されているもののコピーを保管する。

単位取得申告

修了申請時または更新申請時に、取得した単位を証明する必要書類を揃えて事務局へ送付する。

協会承認済み単位： 協会ホームページの単位状況メモ画面の 協会承認済み単位一覧のコピー
協会未承認単位： 単位取得申告書に、必要事項を記入し、下記を添付する。

- ・ 学会名、参加者氏名、領収書が記載されている参加証明書か、領収書のコピー
- ・ 氏名、タイトルが明記されている論文および著作、学会発表を示すもののコピー



協会事務局 〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 1-8-5 新神田ビル 2F
公益社団法人 日本視能訓練士協会
電話：03-5209-5251

